

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立熊野小学校

幼保・小の連携の充実

新一年生が新しい学校生活になめらかに移行できるように、幼稚園や保育所との情報交換や児童と園児、そして地域の方との交流の機会をより多くもてるように工夫する。

授業での交流

生活科「昔遊び」の学習の中で交流する。



1年生からやさしくわかりやすく遊びのルールを教えてください。



始めの会と終わりの会に参加して儀礼や学習規律を学ぶ。



あやとりを上手に行うコツを、1年生や地域の方から教わる。

成果

学習や学校生活について体験してもらうために、いろいろな機会に交流活動を行っている。その中で学校のことを体験しながら、学校生活に慣れていくことをめざしている。また、1年生が園児に寄り添いながら教えたり、一緒に学習したりすることで、さらに学校を身近に感じることができた。

なめらかな接続のために

夏季休業中に教職員が保育の様子を知る。



給食の準備、片付けは、小学校のやり方に徐々に近づけていることを知る。



小学校教員が、小学校の学習や生活の様子を園児にしていねいに話す。



就学前の取組を確認しながらなめらかな接続をめざす。

成果

夏季休業中に、近隣の1つの幼稚園と1つの保育所を訪問し、保育の様子を見学した。特に年長のクラスでは、小学校生活に向けて持ち物の管理、椅子の座り方や話の聞き方、給食の準備などを小学校のスタイルに近づけていることを知ることができた。なめらかな接続のために情報交換をすることができた。